

## 別記様式第14号－1(第27第4項関係)「特別交付型交付金」

令和6年度 消費・安全対策交付金(食料安全保障確立対策推進交付金)都道府県等成果及び評価報告書(令和7年8月作成)  
 (令和5年度補正予算繰越分)

都道府県等名:愛媛県

目的	目標	目標値及び実績			事業実施主体ごとの達成度			交付金相当額 (円) (うち地域提案メニュー)	備考
		目標値	実績	達成度	事業実施主体	目標値	達成度		
II 伝染性疾 病・病害 虫の発生 予防・まん 延防止	家畜衛生の推進	豚熱・アフリカ豚熱のまん延防 止	豚熱・アフリカ 豚熱のまん延 防止	達成	愛媛県	豚熱・アフリカ 豚熱のまん延 防止	達成	2,940,000	
	重要病害虫の特別防除 等	火傷病のまん延防止	火傷病のまん 延防止	達成	愛媛県	火傷病のまん 延防止	達成	356,420	
総計・総合達成度				総合達成度 達成 総合評価 適正				3,296,420	

## 国による評価の概要

総合達成度は「達成」であり、総合評価「適正」は妥当と判断する。なお、事業は適切に実施されたと評価する。

## 別記様式第13号-4（第27第1項関係）（特別交付型）

目標	家畜衛生の推進
事業実施期間	令和6年度

都道府県等名 愛媛県

## 【事業の実施方法】

野生イノシシが豚熱・アフリカ豚熱の感染媒介動物であり、感染野生イノシシの県内侵入によって家畜養豚への感染リスクが高くなることから、県内への侵入を早期に発見するため、捕獲野生イノシシの検査を実施し、監視体制の強化を図る必要がある。

このため、「家畜衛生の推進」の目標値を達成するために、以下の取組を行う。

## (5) 野生動物の対策強化

リスクが高い地域における野生動物対策

## 〈目標値の考え方〉

豚熱・アフリカ豚熱のまん延防止

現状 豚熱・アフリカ豚熱 発生 0件

## 目標値

項目	現状	目標値	実績	達成度	評価
家畜の伝染性 疾病のまん延 防止	豚熱・アフリ カ豚熱のまん 延防止	豚熱・アフリ カ豚熱のまん 延防止	豚熱・アフリカ 豚熱のまん延防 止	達成	適正

## 事業内容及び実績額

事業内容	規格・規模等	所要額実績 (円)	左の交付金相当額 (円)	交付率 (%)
(5) 野生動物の対策強化	リスクが高い地域における野生動物対策  採材委託費  検査資材購入費	2,865,000  151,532	2,865,000  75,000	100  49
計		3,016,532	2,940,000	

## 【事業の成果】

## 1 事業実施内容

## (5) 野生動物の対策強化

## (ア) リスクが高い地域における野生動物対策

豚熱・アフリカ豚熱の県内への侵入を早期に発見するため、捕獲野生イノシシの血液採材

から県家畜保健衛生所に検体を提供するまでの一連の作業を一般社団法人愛媛県獣友会に委託し、県全域の捕獲イノシシの遺伝子検査を実施することで、サーベイランス強化における検査目標頭数の299頭以上を達成し、本県への豚熱・アフリカ豚熱の監視体制の強化を図ることができた。

委託契約；令和6年度捕獲イノシシ検査請負業務

委託先：一般社団法人 愛媛県獣友会

契約期間：R6年4月1日～R7年3月31日

実施頭数：460頭（内、離島35頭分）

## 2 成果

### 豚熱・アフリカ豚熱のまん延防止

・実施後

豚熱・アフリカ豚熱の発生件数 1件

・達成度：達成

### 【都道府県等による評価の概要】

リスクが高い地域における野生動物対策として、県内の野生イノシシ群における豚熱・アフリカ豚熱浸潤状況確認検査を円滑に行うため、捕獲野生イノシシの捕獲及び血液採材を一般社団法人愛媛県獣友会に委託しているが、令和6年度は県内野生イノシシ豚熱陽性事例6頭のうち3頭は本事業のサーベイランスにより検出しており、本県への豚熱・アフリカ豚熱の監視体制を強化することができた。なお、令和6年度は県内飼養豚での豚熱が1件発生したが、本事業の取組により、県内野生イノシシの感染状況を的確に把握し、続発を防ぐことができた。

アフリカ豚熱は韓国で飼養豚と野生イノシシの発生が続発し、特に釜山で野生イノシシの陽性事例が確認されている状況であり、国内および県内への侵入リスクが高まっている。引き続き、本県における豚熱・アフリカ豚熱の侵入を防止するため関係機関と連携強化するとともに、発生防止対策として、農場における衛生対策の向上とリスクが高い地域の監視体制の強化を迅速に行うこと、家畜衛生の推進を図りたい。

### 【専門家の意見】

#### 【公益社団法人愛媛県獣医師会 会長 戒能 豪】

令和6年度も全国的に飼養豚や野生イノシシで豚熱の発生が確認されており、愛媛県内においても野生イノシシや飼養豚で発生が確認された。しかしながら愛媛県内における飼養豚での発生は豚熱1件のみであり、県内で続発はなく、アフリカ豚熱の発生も確認されていない。このことは本事業の取り組みにより、野生イノシシにおける豚熱の感染状況を的確に把握し、農場へ侵入防止に寄与しているためと考える。また本事業により野生イノシシにおける豚熱の発生の半数以上を把握できているため、検体採取を獣友会に委託することで、効率的かつ効果的に検査が実施されている点も評価できる。今後も農場における適切な飼養衛生管理を指導するとともに、野生イノシシのスクリーニング検査を強化することで、豚熱等の侵入防止対策及び監視を継続していただきたい。

第三者の主なコメント	国による評価の概要
<p>【岡山理科大学獣医学部 非常勤講師 増田 恒幸】</p> <p>令和6年度は、県内野生イノシシで豚熱6頭検出し、うち3頭は本事業サーベイランスにより検出したことは、高く評価できる。</p>	<p>管内でCSF・ASFの発生リスクが高まる中、R6当初予算を活用した空港等の消毒や地元の獣友会と連携した野生いのししサーベイランス検査体制づくりの強化に取り組み、</p>

アフリカ豚熱は、韓国で飼養豚と野生イノシシの発生が続発しており、国内および県内への侵入リスクが高まっている。

引き続き本県における豚熱・アフリカ豚熱の侵入を防止するために、関係機関と連携し、家畜伝染病の発生予防の体制を強化していただきたい。

本省指示の目標頭数や事業の目標値は達成されており、特定家畜伝染病に係る事業は適切に実施されたと評価する。

今後も、飼養衛生管理基準に基づく継続的な衛生指導の実施により、県内全体の衛生レベルの底上げや維持に取り組まれることを期待する。

## 別記様式第13号－4（第27第1項関係）（特別交付型）

目標 重要病害虫の特別防除等	
事業実施期間 令和6年度	都道府県等名 愛媛県
事業の実施方法	

なし、りんご等の重要病害虫である火傷病の中国での発生を受け、同国からの宿主植物の輸入は停止されたが、これまで同国産なし・りんご属植物の花粉等を人工授粉に使用してきており国内での火傷病発生のリスクがある。このため、県内における火傷病の疑似症状や感染植物等が発生した場合に、周辺の生産園地において速やかに初動防除を行うため、銅水和剤等の農薬備蓄を行う。

目標値					
項目	現状	目標値	実績	達成度	評価
(3) 特殊病害虫緊急防除	一	火傷病のまん延防止	火傷病のまん延防止	達成	適正
事業内容及び実績額					
事業内容	規格・規模等	所要額実績 (円)	左の交付金相当額 (円)	交付率(%)	
(3) 特殊病害虫緊急防除	資材の備蓄 カスミンボルドー 40袋 アグリマイシン 100 40袋 オキシンドー水和剤 80 25袋 Zボルドー 20袋	356,420	356,420	100	

事業の成果	
ア 対象病害虫名	火傷病
イ 取り組んだ調査の実施地点、実施時期、調査方法	該当なし
ウ 取り組んだ防除対策の実施地域、実施時期、防除方法	「中国産なし・りんご花粉に係る緊急実態調査」で確認された県内の中国産花粉使用実績のあるなし・りんご園地の面積から、初動防除を実施すると想定される面積 12ha に換算し、県内のはなし・りんごの想定散布面積（なし 10ha、りんご 2ha）を算出した。また、複数種類の薬剤について、散布量 10a 当たり 500L として各農薬の備蓄量を算出し、4～5月の間に愛媛県農林水産研究所及び果樹研究センターに備蓄した。
エ 周知指導等の上記イ、ウに含まれない取組の実施回数、内容	該当なし

都道府県等による評価の概要	
火傷病の初動防除に必要となる資材を迅速に備蓄し、発生時に応可能な体制を整えることができた。なお、本県において火傷病の発生はなかった。	
【専門家の意見 愛媛大学大学院農学研究科 教授 八丈野 孝】	国内未発生の病害については発見が遅れることが多く、虫媒等で急速に感染拡大する恐れのある火傷病に対しては周辺園地に農薬を早期に散布するのが効果的である。選定農薬は細菌に対して効果のある銅剤や複数種の抗生物質で構成されており、備蓄量は適正に算出されている。総じて初動防除の体制としては適切であると考えられる。
第三者の主なコメント 【愛媛大学農学部 教授 吉富 博之】	火傷病の発生に備えて適切に農薬を備蓄し、目標値の火傷病のまん延防止は達成されており、対策事業の執行は適切に行われたと評価する。

が使用されるが、その備蓄を事前に行った。  
緊急対応が求められる際に必要最低限の量を適切に判断し事前に備蓄したことは評価される。